



横浜市立太尾小学校

学校だより

令和2年度12月号

令和2年11月30日発行

< 豊かに学び ともに未来をひらく 太尾の子 >

継続

校長 館 雅之



8月	27,648
9月	26,905
10月	28,446

この数字は本校の学校ホームページのアクセス数の推移です。昨年度のこの時期に比べますと、10,000件以上の増加が見られます。ホームページのアクセス数は月5,000件が目安という考えもあるそうですので、それからいけば、多くの方に見ていただいていると言えるでしょう。また、今年度初めの臨時休校中はホームページからの情報発信が主であったため、その時期に見る習慣ができたことも要因のひとつにあるとも考えられます。

(4月は113,926件、5月は212,165件のアクセス数でした)

しかし、毎月これだけのアクセス数があるのは、日々の更新の継続だと考えます。本校のホームページは4月27日以降、毎日学校の様子を更新しています。



学習のふりかえりを大切に指導しています。3年生の外国語の授業ではふりかえり用紙を画用紙に貼っていました。5年生の社会の授業では教科書に多くの付箋が付けられていました。きっと今までに参照したページに付箋を貼っているのでしょうか。どちらの活動も学びの継続が実感できる工夫がなされていました。(ぜひお子さんのノートやファイルをご覧ください。)



音楽室前の廊下の壁にマーチングバンドクラブの活動記録があります。全体の活動日や時間だけでなく、自主的に休み時間に集まりミーティングをしたり、休日に楽器を持ち帰り練習したりする姿が見られます。この表には活動記録だけでなく、課題や改善点がきめ細かに書かれてあります。12月の発表に向けて、演奏(表現)や気持ちも高まってきていることを感じますが、それを支えているのは活動するだけでなく、それに対する自己評価を継続しているからだと言えます。

これらの例に共通していることは「継続」です。「継続」というと「継続は力なり」という言葉が思い浮かびます。続けることの重要性、大切さを述べた言葉ですが、地道に積み重ねていけばやがて大きな成果となること、物事を諦めずに取り組み続けることそれ自身が優れた能力であることの2つの意味が含まれていると言われます。大きな成果は人によって考え方やとらえ方は違い、またそれは多様でそれぞれであってよいことだと私は考えます。さらに、それは変わってくるものと考えます。

一方、取り組み続けることは能力であり、経験を深めることにより、その能力はより培われ、その人に根付いていくものだと考えます。

変化が激しい時代で、学校教育も変化が求められています。それらの対応は大事なことです。一方、「継続」していくことも見失ってはいけないと考えています。それは今までの本校の45年の歴史の中で形は変わっていてもありますが、考え方や取組姿勢、理念は引き継がれていることがあるはずで

「凡事徹底」当たり前のことを追従を許さないほど極めること、徹底的に行うことを大切にしていきたいと考える昨今です。